◆SEO 対策として、リタイア猫、里親、保護猫、横浜、大倉山　というワードを入れています。

【導入】
今回インタビューする大塚さまは、CanCan 出身の猫 3 匹と長野県で暮らしている、リタイア猫のオーナーさまです。
大塚さまが、はじめてリタイア猫のオーナーになったのは 2016 年です。
2020 年 5 月には 2 匹目、さらに 2021 年 5 月に 3 匹目のオーナーになりました。
大塚さまがリタイア猫のオーナーになった経緯や、なぜ 3 匹の猫を引き取ったのかなどをうかがってみました。

＜用語について＞
※オーナー・・・リタイア猫などの里親のこと
※リタイア猫・・・子猫を生むためにがんばってきて引退した猫

【大塚さま家族構成】
・夫と夫の両親の 4 人暮らし
・猫･･･ガンスケくん（7 歳・黒・ペルシャ）、マシューくん（2 歳・レッドポイント・ヒマラヤン）、コハクくん（1 歳・ブルーリンクス・エキゾチックショートヘア）

＜見出し＞

決め手は「穏やかな性格の血を受け継いだ猫」だったこと

Q.大塚さまは、3 匹目のリタイア猫のオーナーだとうかがいました。そもそも CanCan のリタイア猫のオーナーになったきっかけを教えていただけますか？

私が 1 匹目の猫（ガンスケ君）のオーナーになったのは 2016 年のことです。もともと猫が大好きで、猫を飼おうと思い、保護猫やリタイア猫を中心に探していました。

なぜ保護猫やリタイア猫を探していたかと言うと、当時私は一人暮らしをしていたのですが、日中は仕事で不在にしまうため、子猫だと、1 匹でお留守番させるのが心配でした。その点、大きくなっている猫なら、1 匹でお留守番させても問題ないと思い、保護猫やリタイア猫を中心に探すことにしたのです。

まずは保護猫を専門的に扱っているサイトを見て、良さそうな猫がいたら、見に行くことからはじめました。ところが、保護猫を引き取るには「家族との同居」が条件となっていることが多く、単身者である私は条件に合致せず、断られることがほとんどでした。

それでも諦めずにネットで探していたところ、偶然見つけたのが CanCan さんのブログでした。CanCan さんは横浜の大倉山にあるペットサロンで、当時私が住んでいた家からもすぐ近くにありました。
その CanCan さんのブログで、「ペルシャ猫の里親募集」の記事を見つけました。かわいいペルシャ猫の写真を見て、すぐ電話しました。「今、行きます！」と(笑)。

CanCan さんのブログで、1 匹目の猫（ガンスケ君）を見つけたのですね。初めてみたガンスケ君の印象や、引き取ることにした決め手を教えていただけますか？

ガンスケをはじめて見た日のことは、今でも忘れられません。顔がペチャっとしていて、毛がふわふわ。もう一目惚れでした。ペルシャ猫って、こんなにかわいいんだって。

一番の決め手は、「穏やかな性格の血を受け継いだ猫」だと聞いたことでした。それなら、お留守番もちゃんとできると思いました。
加えて、CanCan のオーナーである長谷川さんのご対応が、とっても良かったことも決め手になりました。

一方、長谷川さんの方も、一人暮らしだった私のことを「大切に猫を飼ってくれそうな人」と判断してくださったようで、無事にガンスケのオーナーになることができました。

ガンスケは、子猫を生むためにがんばってきた雄のリタイア猫です。
ただ、私としてははじめて飼う猫だったこともあり、不安もたくさんありました。そんな中、長谷川さんがガンスケの性格などを丁寧に説明してくださったことや、猫を飼うための心構えやアドバイスなどをたくさんしていただけたので、不安はすぐになくなりました。

ご自宅に連れ帰った後のガンスケ君は、どんなご様子でしたか？

猫を飼っている友人によると、「猫は慣れるまでが大変」と聞いたのですが、ガンスケの場合、全く心配には及びませんでした。
家に連れてきてすぐに、穏やかで人が大好きな猫だということがわかったからです。

確かに最初は少し緊張気味でしたが、頭を撫でてあげると、すぐに嬉しそうな素振りを見せてくれました。大きな苦労もなく、自然に家に慣れていったという感じでした。

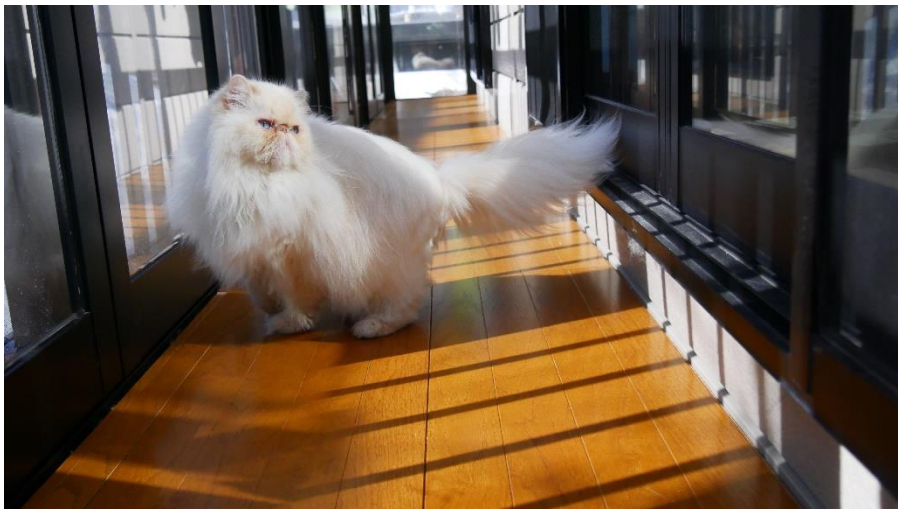
実際に友人が家に来た時には、「あれ？猫飼っていたよね？」と言われたこともあるほどに静かな性格でした。
しかも、猫によくありがちな「壁をガリガリする」といった行動も全くありませんでした。
これも、穏やかな性格を受け継いでいる猫だからだと思います。

<見出し>

2匹目の猫を引き取って、「多頭飼い」の良さを実感

2020年5月には、2匹目の猫（マシューくん）のオーナーになりましたよね。なぜ2匹目を飼うことにしたのでしょうか？

もともと多頭飼いは私の希望でもあったのですが、ガンスケは留守番をさせることが多かったですし、時々寂しそうな様子も見られたので、もう1匹いた方が、ガンスケにとっても楽しいかなと思ったのが一番の理由です。



ただし、2 匹目のマシューのオーナーになる前の 2020 年 1 月に、私は結婚して、夫の両親と同居するために長野県に引っ越すことになりました。

ガンスケが新しい家族に馴染めるかどうか少し不安でしたが、その点についても全く心配には及ばず、すぐに新しい環境に馴染んでくれました。

でも心の中では、「2 匹目を飼いたい」という思いが消えることがありませんでした。

長野県に嫁いでから 5 カ月ほど経ったある日、CanCan さんのインスタグラムに「猫のヒマラヤン　里親募集」の投稿を見つけました。

すぐに飛びつきたかったのですが、2 匹目を飼うことについては、同居している義理の両親から許可を得る必要があります。義母に相談したところ、OK のお返事がいただけたのです。

その場で CanCan さんに連絡をして、オーナーになりたいと伝えました。
長谷川さんも「ぜひ大塚さんに願いしたい」と言ってくださり、こうして 2 匹目のオーナーになることができました。2020 年 5 月のことです。

2 匹目のマシューくんは、階段の上り下りが苦手だということを聞きました。ご自宅に連れ帰った後のご様子はいかがでしたか？

マシューは当時1歳。確かに、生まれながらに後ろ足が少し弱く、階段を下りることが不得意でした。家に連れて帰った当初は、自宅の階段を上っては自力で下りようとするマシューを見て、家族みんながひやひやしました。

とはいえマシューのこと（性格や日常生活での注意点）は、事前にCanCanさんから十分に聞いていましたし、何かあれば、いつでも相談することもできます。大きな不安はありませんでした。

マシューもガンスケと同じで、穏やかな血を受け継いでいた猫でしたし、CanCanさんで愛情いっぱいに育ててくださっていたので、我が家にすんなり馴染んでくれました。

また、5歳年上のガンスケが父親のようにマシューの面倒を見てくれたことは、とっても助かりました。その甲斐あって、今では、ゆっくりと階段の登り下りができるようになり、さらに3段目くらいからなら、ジャンプして下りられるようになりました。
「多頭飼いをしてよかった」とつくづく思っています。

<見出し>

「2匹より3匹いた方が楽しい」の言葉で、3匹目のオーナーに

ガンスケくん、マシューくんに続いて、3 匹目の猫のオーナーになろうと思った理由は何ですか？

ある日、CanCan さんのインスタグラムで、エキゾチックショートヘアの里親募集の投稿を見つけたのです。ガンスケもマシューも、ロングヘアなので、「ショートヘアもいいな」と思いながら、インスタグラムの写真を義母に見せたところ「かわいいわね」と。

良い反応だったので、私はすかさず義母に「飼っていいですか？」と尋ねると「いいわよ」と。その時義母はこんな言葉を残してくれました。3 人兄弟の夫を例に挙げ、「子どもは 2 人より 3 人の方が楽しいから、きっと猫も同じよ」と。感動した私は、これだったら、安心して 3 匹目を引き取れると確信しました。

このタイミングを逃すまいと、再度 CanCan さんのインスタグラムを開いたところ、なぜか里親募集のページが削除されていたのです。
「もう誰かに決まっちゃったんだ」とがっかり。

ところが、数日後にインスタグラムをチェックしたら、なんと「里親募集」の記事が再び投稿されているのを発見！
すぐに CanCan さんに電話をして、「ぜひ我が家で引き取りたい」と長谷川さんに伝えました。長谷川さんも快く受けてくださり、3 匹目の猫のオーナーになることができました。

3 匹目は 1 歳になったばかりで、名前はコハクと言います。足先や耳元などが膿んでしまう病気を持っているため、時々お薬を飲ませる必要があるのですが、投薬以外は特に気を付ける点はなく、2 歳のマシューの良い遊び相手として、楽しそうに走りまわっています。

もちろん、何かあればいつでも CanCan さんに相談ができますので、心強いです。

<見出し>

CanCan 出身のリタイア猫は、おとなしくて人が大好きな猫ばかり！

さいごに、リタイア猫やちょっとした病気を抱える猫のオーナーになることを検討されている方へメッセージをお願いできますか？

猫を飼うとなると、「子猫」を検討される方も多いと思います。しかし子猫の場合、ある程度大きくならないと、持って生まれた性格がどうなのかがわからないこともあります。しかも、育っていく過程で、病気が出てくることもあると聞きます。

それに対して、CanCan さんで育てられてきたリタイア猫の場合は、性格や体質が、既にわかっています。また、CanCan さん出身の猫は、飼いやすい猫のブリーディングにこだわっているだけあって、穏やかで優しい猫ばかりです。

我が家で飼っている CanCan さん出身の 3 匹の猫は、みんなおとなしくて人が大好きな猫たちです。今は、多頭飼いの良さをしみじみ感じています。ぜひ、この記事を通して、「子猫」以外にも、「リタイア猫を飼う」という選択肢があることと、その「楽しさ」を皆さんに知っていただきたいです。

◆提案です。ここで、長谷川さんからのコメントを入れてみてはいかがでしょうか？
補足として、無料ではなく譲渡料が必要なことも入れた方がよさそうですね。